

「ありがとう」「ごめんなさい」

校長 三瓶 昌信

新年度が始まりひと月になります。あっという間にゴールデンウィークですね。

4月は子供も大人も心新たにやる気いっぱいスタートします。それから1週間…2週間が過ぎ、新しい学年、学級にも慣れると同時に「疲れ」も出てきます。この疲れが曲者です。人間は疲れると、普段は心にも留めないことでも、つい「イラっと」してしまうことがあります。これは子供も大人も一緒です。

例年この時期はそういうトラブルが増加します。そのままゴールデンウィークに入り、各家庭で様々に過ごし、その疲れをもって、登校します。

私たち大人はそういう時の対処も知っているし、「耐性」もあります。でも、子供たちはそうはいきません。どの学校でも、どの学年でも「イラっと」が大発生します。学校では、それをできるだけ最小限に防ごうと、連休明けは「フワッと」スタートするように努力します。勝手なお願いとなりますが、ご家庭でも子供たちの様子を普段以上によく見ていただきますようお願いいたします。連休明けだけでなく、月曜日は体調を崩す子が多いです。(決して、ご家庭のゴールデンウィークの過ごし方を変更しろということではありません。ただ、子供たちの体調等はお考え下さい)

始業式に私は子供たちに「あいさつを大切にしよう」と話しました。(はじめの「おはようございます」のあいさつ、最高でした!)そして、特に「ありがとう」「ごめんなさい」の2つを大切にしましょうと話しました。「おはよう」「さようなら」は学校だけでなく、大人社会でも当たり前です。でも「ありがとう」「ごめんなさい」って本当に少なくなっていると思います。中でも大人社会では耳にすることが減っている気がします。「ごめんなさい」は言っただけではいけない言葉、言ったら負けのように考えている大人が多すぎるように感じます。私が昭和の古い人間だからそう感じるのでしょうか?(失礼!昭和生まれの方が悪いわけではありませんよ)子供は大人の姿を映す鏡です。私たちが言語環境を意識しなければなりません。

私は、「ありがとう」「ごめんなさい」は魔法の言葉だと考えています。人と人の間のクッション、接着剤、潤滑油…になる言葉ではないでしょうか。前述した「イラっと」へも効き目のある処方箋です。

ご家庭ごとに、様々なお考えがあります。私の思いを一方向的に押し付けるつもりはありません。ただ「イラっと」が増えるこの時期、子供たちと一緒に考えていただけると幸いです。

学校からのお願い、その他

- ・「tetoru」(メールアプリ)の登録はお済みですか?学校だよりはじめ、様々なお知らせを添付配信しております。台風等へにお急な対応も配信します。ご登録にご協力ください。
- ・学校ホームページのリニューアルを考えています。「学校日記」毎日更新できるように頑張ります!皆様に必要な情報を提供できるホームページを目指します。ご意見、ご感想もお寄せください。素敵なアイデアもいただくと嬉しいです。
- ・「365日学校公開日」です。いつでもご来校ください。校長室でもお待ちしておりますよ。
- ・教職員の「働き方改革」に取り組んでいます。これは教職員が単に楽になるためではなく、教職員が子供に向き合う時間の確保、それぞれの職務を果たすための時間の確保です。ご理解ください。